

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail : chiba_syokutairen@ybb.ne.jp

千葉職対連ニュース

4月3日に早めた花見



昨年は冷雨で一部開花のみの花見でしたが、今年は例年より10日位開花が早まり急いで4月3日（火）、7日予定の花見を前倒しして実施しました。朝、ぱらりときましたが開宴の11時には快晴で風もなく夏日となり強い日差しのもと宴が持たれました。

桜の花はほぼ最終の状態でしたが門間さんを偲びながら杯を重ねました。下戸のふたりを除き、4人で一升瓶と四合瓶が空になるほど楽しい宴となりました。

会費納入のお願い： 該当の方に会費納入用紙を同封しますので、宜しくおねがいします。



情報操作の歴史的教訓

今月は、一年間たっても未だ解決できない「情報操作」疑惑を考えます。財務省や防衛省、あるいは厚生労働省、文科省の官僚の「データ改ざん」「文書隠蔽」などに関する情報操作疑惑です。最近では「口裏合わせ」したことも判明しました。これらの情報操作は市民がやるのとは違います。霞が関の政治家・官僚といった権力を握った者が「公的情報」を「私的」に扱ったものです。公文書は正しく記録し未来を担う人たちの教訓とすべき歴史書ともいえます。歴史は政治家・官僚個人のものではなく国民全体の共有資産です。その共有資産の情報を自分勝手に使った例が過去にもあったのか歴史を振り返って見ました。

歴史を振り返るとその手口は様々ですが、いずれも「私利私欲」に基づいた情報操作を紹介したいと思います。「情報操作」を別の言葉でいえば「歴史修正主義」といえるかと思います。安倍首相が初めて総理大臣になった2006年、欧米各国から首相は「歴史修正主義」と強く批判されました。安倍首相は第一次政権当時、持論の「従軍慰安婦の強制連行の記述はなかった」と発言したからです。彼が事実

に反する強気の発言をした背景事例をまず紹介します。

一つ目は昭和20年8月に行われた「日本歴史上、最大規模の大胆な情報操作」です。戦前の政府、旧日本政府が起こした「文書焼却事件」です。明治維新から始まる日本歴史がおよそ80年後に破局を迎えた段階で公文書がすべて焼却されたのです。こんな証拠隠滅は「歴史を抹殺」するものであり世界的にも珍しいと思います。この時日本は「歴史なき国家」に陥りましたが、なぜ起こしたのかといえば、都合の悪い戦争犯罪の証拠を消すという旧政府の「私的判断」でした。後世代が担うべき反省と謝罪のための基本情報を捨てたのです。

ポツダム宣言を受諾した後「閣議決定」され、すべての省庁つまり内務省や陸軍省・海軍省などで一斉に焼却開始しました。これは中央省庁だけではなく地方まで徹底されました。その際、官僚の机の引き出しの個人的書類まですべて焼却するという徹底ぶりでした。陸軍などは書類が多すぎて市谷台で焼却できない書類は大きなリュックサックに詰め持ち帰り、官僚が自宅の庭で朝から晩まで（次頁へ）

3、4日間かけて焼却したという話もありました。

アメリカ占領軍が日本から持ち帰り文書保存館に保管した文書量は全部で20万ページだったそうです。これはとても少ない文書量ですが、ナチスドイツから押収した文書が800万ページといえますから日本はその40分の1しかありません。

最初に紹介した「従軍慰安婦の強制連行を示す記述がなかった」と安倍首相が強気に発言した背景はここにあったのです。戦後の歴史家が大変苦労したのですが「天網恢恢、疎にして漏らさず」といいますが、オランダなどの海外諸国には日本軍の慰安婦強制連行で日本軍将校が有罪になった裁判文書があったのです。教科書の従軍慰安婦の歴史が消されたのも歴史修正主義に属する「自虐史観」批判が原因ですが、欧米諸国からみれば歴史修正主義と批判されるのはしかたありません。

次に紹介する「情報操作」は明治維新政府が設立される途上で起こった勤王側の政治的不祥事と新政府樹立後の政府高官による経済的不祥事に関する話です。この明治維新前後の歴史が先延ばしされ作成されなかった話です。政府編纂の正史がなかったため空白を埋めるよう御用学者の偽書が出回り歴史の真実が見えなくなりました。その影響は拡大し国家百年の計といわれる学校教育でも誤ってしまったのです。

欧米諸国が日本を「歴史修正主義」と批判する背景には、彼らが歴史修正主義を克服した事実があり

ます。彼らの長い恥ずべき歴史を深く反省し、真実の歴史を学校教科書で堂々と教えていることも知りました。その徹底的な教育ぶりはドイツだけではなくイギリスも同様だったことを最近知りました。

なぜ日本は明治維新正史を書かせなかったのか、あるいは政府が歴史家に書くのを禁止したのかと言えば、薩長藩閥の不祥事が次々と明らかになれば正当性を失うからだと思われます。国民の信頼を失うのを恐れたのでしょう。(ニュース第198号に掲載記事を参照ください)

小説「坂の上の雲」は日露戦争に従軍した将兵を描いた本ですが事実と勘違いする人も多いようです。作家の司馬遼太郎が参考にした史書は「陸海軍の正史」ではありません。焼却を免れた正史は戦争中、皇居に保管されており、この正史が防衛庁に寄贈されたのは20世紀終わり頃でした。「昭和史の探偵」を自称する作家・半藤一利さんがその返還後直ちに見に行き、違いに驚いた話も最近知りました。歴史は真実を書かなければいけません、あるいは一面の表の歴史だけ見ては分かりません。歴史は負の歴史も見なければ、誤解をもたらすことが分かります。欧米諸国では、政治家が歴史修正主義と批判されるとその政治家は資格を失うのですが、冒頭触れた「情報操作」問題をどう解決すべきかは、日本の歴史修正主義を参考にして、誤りを繰り返さないようにしたいものです。(北辰)

当面の取組日程

千葉職対連事務局

4・18(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	民医連事務センタービル
19(木)	県職員公務災害裁判検討会	16:00~	船橋第一法律事務所
21(土)	憲法「改正」問題を考える講演	13:30~	千葉県弁護士会館3F
28(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
5・1(火)	千葉中央メデー	10:30~	千葉中央公園
9(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
13(日)	いの健千葉第20回総会	13:30~	船橋市勤労市民センター
16(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	民医連事務センタービル
26(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター
6・13(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
20(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	民医連事務センタービル
23(土)	メンタル労災センター事例検討会	14:00~	未定
30(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
7・8(日)	千葉職対連第44回定期総会	13:00~	船橋市勤労市民センター